

TOCHIOエコバッグ製作

今年度栃尾高校は、4系列が協働で地域連携に取り組んでいます。取組の第1弾としてフェースシールドを制作し、続く第2弾として「TOCHIOエコバッグ」を制作しました。

H27に、ビジネス・情報系列の実習として地元「とちパル」様で商品の委託販売を開始し、これまでに、工業技術系列で制作した「あぶらげんしん名刺ケース」「あぶらげんしんキーホルダー」「あぶらげんしんミラー」や、ビジネス情報系列でデザインした「あぶらげんしんと（栃尾高校キャラクター）あげおあげみのエコバッグ」などを販売してきました。

今回は、従来のエコバッグの人気を分析し、販売単価や使いやすさ、そして地域の特徴を盛り込んだ製品としてどのような商品が良いかアイデアを練り直しました。

特長は栃尾の名産を表したデザインと持ち手についた栃尾織物でできたくるみボタンです。くるみボタンはエコバッグを簡単にまとめることができます。このボタンを包む布地も、本校生徒がデザインして地元企業に織っていただいたものです。くるみボタンをとおして栃尾織物の良さを実感していただけたいと思います。



ビジネス情報系列

POP制作
財務管理

人文自然科学系列

イラストデザイン

福祉・家庭系列

くるみボタン
織物デザイン

工業技術系列

はんこ制作
(今回は未使用)

地元の人気商品の研究

7月14日（火）、今後の商品開発の知識とアイデアを得るために、栃尾の人気菓子である「丸鯛」について学びました。

当日は、有限会社おさべ菓子店（長部直栄社長・長岡市栃尾新町）取締役の長部恵子様より、栃尾のもち米で製造する慶事用粉菓子について、製造方法や商品のこだわりについてお聞きし、所有されている貴重な木型を見学させていただきました。

栃尾名物のタイを真ん丸くデザインした「丸鯛（まるだい）」や、おさべ菓子店オリジナルの栃尾てまりをデザインした木型、さらに一匹丸ごとの魚ではなく頭と切り身の部分だけのコイの木型など108点の木型を鑑賞しました。

見学を終えて、商品に込める思いの大切さ、どのように商品を伝えていくかについて深く考えることができました。

【生徒感想：抜粋】

- ・昔の人たちの色々な思いがあって、栃尾のもち米を使ったり、めでたくなるような思いを込めて鯛の形のお菓子を作ったのだと思いました。
- ・結婚式や、孫が生まれたときにおめでたいものとして配ったり、ふるさと納税の返礼品として扱ってもらっていることがわかった。

